夕刊
いわき民報

発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

TEL・9 99 999
釜屋商店

議員の請負問題化

再開市會 活發な質問應答

平市予算市会は三日午前十時二十分再開、午前中は二十六年度追加予算始め同予算関係議案の一括質問戦を展開、劈頭から特別平衡交付金問題で論議が交され、第三小、公民館新築褒賞金五十万円問題では『市会議員は市の工事請負をしない様な規則を設け市政の明朗化を計るべきだ』と志賀、大嶺、野沢、多田井の各議員から強い要望があつて傍聴席にぎつしりつめかけた神谷地区婦人代表ら市民が真剣な議会の質問戦に目をみはつたが、各部常任委員会に附託され午前十一時五十五分休議、午後一時再開した、午前中の主な質問は次の通り

多田井議員 特別平衡交付金五百二十余万円が内定したことに対し当局並に関係者の努力に感謝したい、この数字は本当かどうか尋ねたい

伊藤助役 中央の事情を調べた結果五百二十二万八千円が確実だと判りその内報を受けた

柏原議員 福島市では千六百万円もとれるというのにこの金額では未だ不足だと思う、関係者の努力には感謝するが政治的な運動が足りなかつたのではないか

強口議員 高木次官から二月八日電報があつて交付金問題で相談があるというので丁度市当局にも同電文がきていたところから上京当初市では八十万円程度しか支給の対象になつていなかつたものを内藤行政委員長など関係者始め大臣にまで当つて充分運動した

小野議員 予算案、議会費七万三千余円の追加は議員報酬とあるが神谷、飯野地区の議員にも支給するのか、神谷片寄林道工事は最近勾配が計画の十三、一に対し十八、一となつて来ているが変更になつたのか

助役 前議員にやる報酬に不足を来したので計上、神谷、飯野には支給しない、地元関係者から陳情あり県営工事なので県に陳情した結果事業所から二十八年度に失対事業が廃止する関係からこうなつているが地元民の意志通り処置を講ずるということになつている

吉田議員 平衡交付金問題で市当局の運動経過の説明を求めたい高木次官の心配から当初八十万円だつたものが五百万円になつたといわれているが―

強口議員 『当初八十万円程度にみられていたのは二十六年度の当初予算において実際の事業経費しか計上していなかつたからでその後の補正予算を入れることが出来なかつたからだ、二中三中や跨線橋工事を入れると二千四百万円となりこれが査定基準となるワケだつた』 吉田議員再度立つて当初からこの額にすべきだつたと市当局の手落をせめたが強口議員発言の『高木次官だけでなく関内代議士にも相談しようとしたが上京の時留守であつた』と政治的意味のなかつた点を弁明

志賀議員 市当局は公民館第三小の新築褒賞金として五十万円でているが、請負者は完全に仕上げるのが当然であるのに期限が遅れているのだからカタイ金をとるべきだ、第二中等は四十七万円から損しているのだからこの方法でゆけばこの人にも支給すべきだろう、こんなことは諸橋市政において一掃すべきだ、当局の意志をうかがいたい、大嶺議員から『この問題は地方自治法第百十七条により議員個人の利害関係もあるから議長の裁量によつて退席させるなり適切な措置をとるべきだ―』と議事進行につき発言あり、小野（米）議員『教育委員としてあの工事は素晴しいものだと思つており、土木委員もタツチしてきめたものだ』と市当局の措置に賛成、強口議員『大嶺議員から一身上に関するから遠慮ということがいわれたが私は遠慮しない』と反駁、伊藤助役『一昨年の工事設計（十一月ごろ）なので経済事情の変動から物価も上つたので計上した』（諒解の声あり）大嶺議員これに対し『当局の説明でハツキリしたがしからば真心込めて完成した場合も今後この方針で進むか、これ以前にもこの様なことがあつたか、悪い前例を残すから市民に誤解されぬ様警告したい』と動機として出されその際野沢議員から『土木委員会で決定してあるが確かに高額だと思う、この方針で進めば市の契約は必要なくなるから規程を根本的に改めるべきだ』これに対し市長から『公平妥当な線で運用している、この問題は適当に善処したい』と答え真木議員『趣旨には賛成だが規程を作る事には反対だ前にはこの法令があつたが今は市会議員の立場も尊重されてなくなつているのでこれを設ける事は議員自らを侮辱するものだ』として反駁、結局議長から『同問題は当局の意志により決めるべきである』として白熱化した論議を打切つた

豫算市會に提案 ①

三役、議員の給與値上

督促手數料は廿圓に

二十九日の平市予算市会に提出された条例改正の主なるものは次の通り

▼市長ら三役の俸給与支給条例改正案、月額市長が三万八千円（従来二万八千円）助役三万二千円（二万三千円）支所長たる助役一万七千円（一万三千七百円）収入役二万六千円（二万円）この改正案は二十六年十月一日から適用される、▼市会議員並に各種委員の報酬額及費用弁償支給条例設定、各種委員を包括して新しくこの条例を設け次の様に報酬額を改正（年額）旅費、日当なども市職員なみに支給される、議長六万五千円（従来四万円）副議長五万五千円（三万五千円）議員四万五千円（三万円）選管委々員長一万円（六千円）同委員七千円（四千円）公安委員四万円（三万円）公平委員会委員長六千円同委員四千円農業委員会委員長六千円同委員四千五百円固定資産評価審査委員会委員一日三百円▼消防団員給与条例改正四月一日から施行、改正点は年手当団長五千円（従来三千円）副団長三千円（二千五百円）分団長二千円（千二百円）副分団長千五百円（千円）庶務部長二千五百円（二千円）部長千円（八百円）副部長八百円（六百円）班長六百円（五百円）副班長五百円（四百円）団員三百円となつた▼市職員定数条例改正 消防団員七九〇人を七七五人と一部改正、四月一日から施行する ▼市税外収入督促手数条例改正 第二条督促状を発したるときは手数料として一通に付き二十円（従来十円）を徴収すると改正、四月一日から施行する▼市競輪場内売店使用条例設定 売店を使用する場合は市長の許可を要する、使用期間は一カ年で毎年一月更新する使用料は一店舗一開催二千円以内において市長が定める売店の使用は一人一店舗とし使用料は前納『理由なく競輪開催期間の半分以上閉店したとき』などその他場内取締委員の指示に従わない場合は許可取消しとなる、使用の権利を他人に譲渡又は転貸出来ない、使用者は売店内に居住出来ない等となつている、適用は二十七年一月一日から▼市議会定例会条例設定定例市会は毎年奇数の月（一、三、五、七、九、十一）に開く、この条例は公布の日から施行する ▼特別会計廃止の件 平市瓦製造工場事業役に関する特別会計は二十六年度限りこれを廃止する

男から米を買つた 女を殺さぬと否認

かつぎ屋殺し検事に陳述

昨報＝かつぎ屋女殺しの犯人西白河郡矢吹町中畑新田字中道八表具師高野四郎(四七)は県刑事部本田部長、県捜査課森合警部、平市署金田司法主任らの取調べに対し『何も云いたくない、公判廷で真実を明かすから早く検察庁へ送つてくれ』と黙否権を行使して頑強に犯行を否認、犯行否認のまゝ二日午後一応身柄送検されたが、検察庁でも中村検事の取調べに対し『俺は絶対に殺さない、あの晩平駅の待合室で四十七、八位の男に米を買つて呉れと云われて風呂敷ごと買い取り其の足で刃米町の某菓子店へ持つて行つて売つたのだ』と犯行を否認している、しかし刃来町の某菓子店でガタガタふるえながら米一斗七升を売り捌いたことや、自宅から発見された被害者の髪の毛のついた風呂敷などが動かぬ証拠となつて居る、高野は五尺二寸やさ型でチヨビひげなどを生して居り平市鍛冶町三国印刷屋主人の実弟で昭和六年夏平市南町飲食店佐藤屋に忍び込み女将佐藤サツさん(五五)を絞め殺そうとしたが騒がれて失敗強盗殺人未遂で懲役五年に服し更に同二十三年七月二十七日茨城、宮城、北海道を股にかけ宿屋二十数軒を荒し二年六カ月の刑を云い渡され二十五年六月十五日宮城刑務所出所、その後北海道の函館に渡り浪江町にも居たことがあるが昨年一月十五日矢吹町に移住したが表具師とは名ばかりで看板書や長ぐつの名前書などをやつて細々と生計を立て、印刷関係では筆の立つ男だが怠け癖があり度々実家を訪ずれては生活費を無心して居り、二十五日にも鍛冶町の実家へ金を無心に来たが毎度のことなので断わられ汽車賃として三百円をもらつて帰つたもので矢吹町には妻(四五)ほか十一才と九才と二才の三児がある、尚平市署では三日から検事の拘留で本格的取調べを開始すると共に傍証固めに躍起となつている＝既報自供は誤り＝（写真は犯人高野四郎）

猛烈な選擧戰を展開

五日小川江筋の役員改選

小川江筋土地改良区総代会議は五日石城地方事務所に開き議長（一名）副議長（一名）理事（七名）監事（二名）等の役員選挙を行うが目下該当各町村では理事、監事などをめぐつて烈しい選挙戦が展開されている、なお理事の候補にのぼつている者は矢吹初弥（平窪）木田源宗（平窪）志賀兼太郎（神谷）篠崎秋穂（草野）渡辺繁弥（草野）新妻辰雄（大浦）渡辺貫一（大浦）の各氏の顔振れとなつている

短刀をもつて大暴れ

女に振られた怨みで

平市長橋町二三大工職永島秀夫(三〇)は一日午後七時四十分ごろ同字地内の矢野庄吉さん方に刃渡一尺の短刀を持つて暴れ込んだ事がわかり現行犯で平市警員に捕まつた永島は矢野さの二女某にふられたことをうらみに暴れ込んだもの

強盗傷人で送検

既報＝平地区署では三日内郷町宮字滝日雇斎藤貫一(三〇)を強盗傷人容疑で身柄送検した、同人は去る二十八日午後六時半ごろ好間村上好間字小館地内古河炭鉱電工場から鉛塊十六貫（一万円相当）を盗み自転車で逃走しようとしたところを同鉱労務係伊藤春次さん(五九)に発見され捕まつたが、手袋で伊藤さんの顔面を滅多打ちにし全治二週間の傷害を加えて逃走した外去る二月上旬ごろ二回に亘り同所から鉛塊二十貫（一万五千円相当）を盗んだことも自供した

賃上げ決議

水素勞組

小名浜町日本水素労組では弾圧労働三法反対総蹶起大会を二日午前九時半から同社講堂で開き、賃金値上げ要求については去る二十七日中央委員会で決定をみた現行ベース一万二千六百円の三千三百円増しの一万五千九百円（税込み）を確認、また弾圧労働三法反対斗争については合成化労連と密接に提携し時期を考慮して具体的な斗争方針を決めること、今後の運動方針として❶賃金値上げ要求❷労働協約改正に伴う既得権の拡充をそれぞれ決定午後零時半閉会した

時計盗む

小名浜町汐留一八鮮魚商小野アキ(四四)は去月二十六日午後七時半ごろ同町竹町『清寿の湯』に入浴中の同町沖見一八無職坂本キヌ子さん(一九)から八型腕時計一個（五千円相当）を盗み同町竹町佐川質店に入質したことが判り三日小名浜地区署に捕つた

土地改良區の設立決定

小名濱農委會

小名浜町では農業委員会を二十九日午前九時から役場会議室で開き後日委員の構成などを協議する条件で土地改良区の設立を決定したこの土地改良区とは❶用水農道の新設❷農地の保善又は利用上必要な施設の管理、変更❸区劃の整備❹農地の交換分合❺防風林の新設などの事業を行うもの

三部被告 分離組へ

平事件統一斗争派被告三部サト(四〇)＝内郷町白水＝は地裁平支部山田裁判長に自由法曹団大塚岡林両弁護人の解任を申請し一日許可されたが、同日に分離公判を申請した、分離組はこれで四十八名となつた

鼠を退治

あす内郷

内郷町第二回ねずみ退治は四日小島、みまや、御台境、三地区に実施するが、みまや小学校六年生八十五名が参加し千百戸に二戸宛十コのネオメツトを仕掛け五日死体発見を行う、第一回宮地区の退治には一週間で三百六十四の成績をあげたので六年生達は張切つている

漁協組連合會 五日に總會

漁協組連合会総会は五日午前十一時から平市県水産事務所に開く

天氣予報 三日

【今晩】北西の風晴れたり曇つたりの天気

【明日】北西のち南よりの風朝夕曇りがち日中はよい天気、海上は明日明後日とも大体穏か

工員募集
一、靴下工（経験工）若干名
一、カカリ工（経験工）若干名
一、横編工（経験工）若干名
一、女子見習工 数十名
◇条件 一、年令、見習工は十六才以上二十才以下
一、区域 市内徒歩通勤可能ノ方
一、其他委細面談
平市月見町五八
坂本産業株式會社
電話一、〇五七

新設
電話一四一七番
開通致しました ご利用下さい
味噌醤油 食料品
雑貨 たばこ 塩
学用品 木炭 薪
平市旧城跡二〇
猪狩商店

洋裁 服飾手藝
實力を誇る
さゑ服装研究所
平市材木町 永山さゑ子
一、本科 一カ年（昼間）
一、研究科 一カ年（同）
一、随意科 六カ月（夜間）
一、入學資格 中卒以上
一、願書締切 三月末日

進學、卒業の記念に
正確な誠光堂の腕時計
平市銀座通 電九八八

お待兼の…平物産観光協会推薦
銘菓 たいら柚餅子（ゆべし）
お茶にもコーヒーにも向くチヨコレート最中
御贈答に御利用を
パンと洋菓子 ベーカリー
東京堂
平市才槌小路 電一一〇八

平名物
花子まんじゅう
製造元 株式会社 平製パン
平市かじ町 電21
長橋町の電平689番 吉村ガクヌ商店

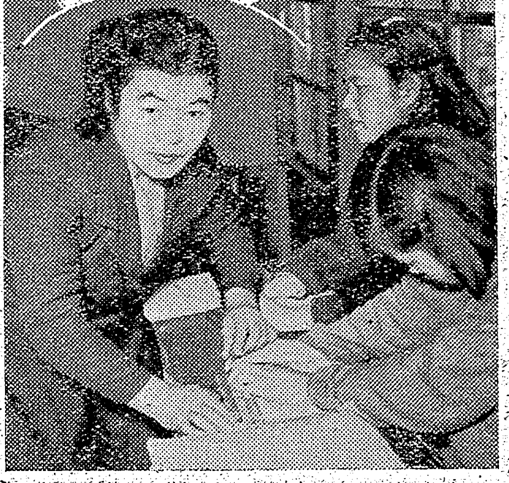
職場の女性

（14）

暗い子らに"光"を

平盲聾校の木村文代先生

平盲聾学校創立以来満四年間恵まれない生徒達の教育に精勤している教官木村文代さん（四三）は生徒達から母の如く親しまれ又先生達の中でも一番古い熱心な教育者で橋本栄校長は自信をもつて推せんしたし木村先生は福島師範卒業後、東京大森の入新井小学校教官に十七年間勤め去る廿三年四月故郷の平市へ帰り耳、眼、口の不自由な子供の教育に一生を捧げる覚悟で進んでこの盲唖学校へ転任した、人間性の探究に余念のない先生は心のゆがんだこれらの生徒達に光明を与えたいと懸命の努力を払つている一番苦労なされる事はと尋ねると『中学部の生徒にピタゴラスの定理を証明するとき正味五時間も費やし、三角辺の正方形を厚紙で切り抜いて実際に生徒の手に触れさせて教えるときが骨折れます…』と語つた、家庭にあつては男子二人があつて夫は病弱で駄菓子屋を営んでいる、一家の柱である先生はこの不具な生徒達のよい母となつている、趣味は読書、音楽料理だそうだが裏表のない素直な明るい気持で骨身をけずる研究と努力を続けられている（点字教育中の木村先生）



競技場の新設提案

縣體開催について 役員會で決定

磐城陸上競技協会役員会は二日午後一時から磐城スポーツ連盟事務所で開き県体陸上競技場設備問題について協議した結果①県体競技場は第二種公認競技場（トラック四百米）にすること②会場予定の平商、平工両グランド継ぎ合せは永久性がないから別に新たな土地を選んで欲しいこと③競技場の設計、設備、備品その他主要なものの明細書を製作して市当局へ提出すること④サブ・トラック（補助グランド）二百米位のものを作つて欲しい⑤この要望書はまとめて市へ申し入れする、この通りに行われないときは開催は引受けられないなどと決定した、なお二十七年度磐城スポーツ連盟役員の改選を行い次の通り選任した

▼県陸上競技協会副会長、磐城陸上競技会長金子源三▼同副会長田子泰作、同草野仁▼理事長鈴木武雄

卅六歳で高校を卒業

家庭持つ今泉さんの苦労談

小名浜高校の卒業式は一日午前九時より第二小学校講堂で行つたが今年の卒業生は百七十四名（うち女子百十二名）のほか第一回定時制卒業者七十五名、第二回別科卒業者二十七名がいた、特に四年間の勉学にいそしんだ定時制（夜間）は三十才以上の者も多数含まれ最年長者は三十六才で若い学生に混つて注目を惹いたが、アプレ青年を尻目に働きながら勉強したこれら青年に同校では努力、精勤、功労賞などを贈つた

この日卒業生の年長者今泉十郎次さん（三七）は螢雪四年間の思出を次の如く語つた、なお今泉さんは日本水素工業勤務の工員で家庭には妻いく子さん（三〇）長女ふさ子ちゃん（四つ）長男英一郎ちゃん（二つ）がいる

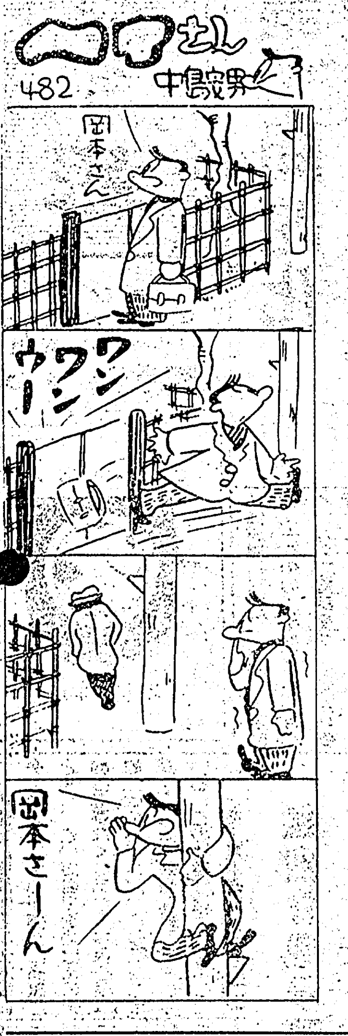
満州から引揚げ職安所の紹介で昭和二十二年二月日本水素電力課に入社したがこゝで実力よりも学歴が相当ものを云うことを痛感、小名浜高校に定時制が開設になると同時に入学した、勤務が三交代のため昼間学校に行つたり夜学したり時間不定の勉強をせざるを得なかつた、家庭と勤務と学校の三本立には本当に苦労した、然し若い学生と一緒に運動などをすると童心にかえり嬉しかつた、今後は通信教育で勉強したいと考えていたが年六週間の面接教育があるのでこれは不可能だ、平市に短期大学が設置され働きながら大学を出られるようになればどんなに良いか…

第一回定時制卒業者を送出した同校では

入学当時は百五十三名もいたがその後減る一方で卒業者は七十五名になつた、働きながら四年間勉学したこれら青年の向学心には感服させられる

と語つていた

（写真は年長者の今泉さん）


ヘロさん
482
中島宏男
岡本さん
ワンワン
ウー
岡本さーん

四日湯本町に到着

全國一周の眞道さん

戦没者並に炭鉱殉難者慰霊のため昨年十一月四日午前九時湯本町役場前を白シャツで全国一周延長六千五百キロ踏走に出発、話題を投げた湯本町三函採炭夫（元善光寺僧侶）柳津真道さん（三〇）は二十九日日光を発足四日午前十一時湯本町に到着することになり念願を達成することになつた

優秀な卒業生

磐女高、平商高卒業式は三日挙行したが、成績優秀者左の通り

磐女高▼生徒会功労者　山田博子ほか十五名▼室長勤続功労者　馬淑ほか三十九名

▼学芸クラブ主事功労者　斎藤弘子（郷土クラブ）大河原礼子ほか一（社会〃）小泉紀子（文芸〃）加藤チヨほか二（語研〃）鈴木咲子ほか一（美術〃）横田成都子（理科〃）鈴木藤子（生物〃）橋本ユキ子（数学〃）小松順子ほか一（写真〃）太田靖子ほか一（食物〃）高木刀子（被服〃）中野英子ほか一（演劇〃）深谷和子（映画〃）金成チエ（書道〃）塚本敦子（音楽〃）

▼体育クラブ主事功労者　加藤スマ子（野球クラブ）西内ケイほか三（籠球〃）渡辺五子ほか三（庭球〃）金子美紀ほか四（ダンス〃）石橋勝子ほか六（排球〃）押田久子ほか二（陸上競技）柴田秀子ほか一（卓球〃）鈴木雅子ほか一（体操〃）牛久光子ほか三（バドミントン）

▼外局主事功労者　菊地チイ子（購買局主事）秋山慶子（出版局〃）駒木根礼子（放送局〃）遠藤恭子（図書局〃）

平商高▼優等賞　猪狩伴久、小野敦、佐藤篤、高橋秀和、田中一義、田沢秀夫、松沢豊、増田宗純、吉田豊政、鈴木芳枝、渡辺貴美子

▼精勤賞　猪狩佳久、石沢敏雄、大谷一郎、大友瑞夫、大庭茂吉、小野敦、木田金保、草野史郎、佐藤篤、斎藤芳明、篠崎定男、志賀光男、戸田悦司、中島義勝、新妻秀雄、西沢正雄、長谷川慶吉、芳賀正、橋本清寿、日野英雄、藤井達男、柳内勇、吉田豊政、上原幸子、太田力子、北郷明子、北郷方子、菊地ミツ子、鈴木テル子、高木シヅ子、高瀬道子、根本民子

▼委員長勤続賞　猪狩佳久、小野敦、佐藤篤、田沢秀夫、吉田豊政、佐藤カホル、橋本徳子

磐農高卒業式

磐農高等学校の卒業式は四日午前十時より挙行される（卒業生数は二六〇名（勿来第二部上遠野分校を含む）内訳全日制農業科八四、普通科（本校）六二、勿来普通科二八、定時制農業科三六、普通科夜間部二一、内上級校志望者約三〇〇

水産高校卒業式

小名浜水産高校では五日午前九時半から第三回卒業証書授与式を同校講堂で挙行する、巣立つ生徒は漁労課三十名、製造課三十四名、通信課二十四名

雇婦が飲酒

鐵道自殺

平平杉平二〇『みよし食堂』雇婦渡辺ハナ子（三三）は二日午後九時五十八分ごろ市内古鍛冶町地内鉄道踏切りで磐越東線貨物列車に飛び込み自殺した、ハナ子さんは同夜自宅で友達と酒を飲んでいたがふらふらと飛び出して飛び込んだもの

農協増資目標を完遂

農協組再建を主眼に昨年十月初旬から運動展開して来た三億増資運動は石城郡内は各組合員の協力により三月一日現在で湯本、小川、泉、赤井、江名、草野、大野、玉川、錦、勿来、植田、渡辺、箕輪、永井、高久、三阪、永戸、箕輪、夏井、大浦、豊間の二十組合が目標を達成、県割当て目標の四千六百二十四万七千円に対し実績四千九百二万円で目標を超過完遂した、二月末日まで出資した組合には県から奨励金として増資の三分が交付されることになりこの金額は八十七万八千十円で三月末日までに交付される

品質日本第一位
リスカレー
風味無類…　七味唐がらし

のらしい

五万圓盗難

平市白銀町請負人夫大沢覚治さん（三七）は二日午前八時半から午後零時半ごろまでの間に市内白銀町地内の鉄道信号区保安材料倉庫内に置いた新聞紙包みの現金九万円のうち五万円を盗まれ平市署に届出た、鉄道保安工業株式会社から同社磐城出張所に渡す人夫の給料で大沢さんが預つたもの

強姦未遂

平市署では富岡地区署からの指名手配で三日朝平市月見町一三東北電気工事株式会社平営業所業務主任佐藤哲二（五五）を強姦未遂容疑で逮捕、同日身柄を富岡地区署に移送した、佐藤は富岡地区署管内で婦女子を強姦しようとしたが騒がれて失敗逃走中のもの

盲唖校改築

四月に移轉

平盲唖学校の新校舎にあてられた元平陽女学校の改築上棟式は二十七日挙行した、敷地七百坪、建坪二百五十坪の総二階建、十三教室『平光寮』の宿舎となつており完成予定は三月末まで、移転は四月一日の予定

小屋半燒

一日午後二時四十分ごろ内郷町常磐炭鉱内郷鉱住吉選炭場水洗機小屋から出火、同建坪六坪を半焼した原因は調査中

ラジオ JOCP JOHQ

ローカル 平放送（4日）

前七・二五　のびゆく福島
前10・05　学校放送
後6・05　平若松通信第一二三報
福島民報平支社長菅野芳夫

おかやのオーバー

預金と無尽
株式会社 大東相互銀行
平市大町 電110 378

眼鏡専門　各眼科医指定
玉屋
平市二丁目 電910

[illegible]
平一丁目 電三四四

きのへ子
味のよくきく キノエネ醤油
千葉県野田市

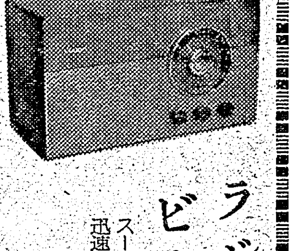
スピード
出張寫眞專門
金太郎寫眞部
平三町銀前（電四七）

印章 ゴム印
綿引印舗
平市駅前大通り

開店
和洋裁縫用具　自家製ランドセル
小間物一般　カバン袋物製造修理
マルタケ　平市紺屋町飯田カメラ向

東宝
初春に贈る豪華プレゼント
二本立上映
南海の情火
赤道祭
藤田進　山根寿子　杉葉子　伊豆肇　監督佐伯清
南海の怒濤にしやく熱の恋と壮烈な死闘を描く一大メロドラマ！
哀愁の夜
4日＝7日
バラと真珠と拳銃!!
越路吹雪　折原啓子　村田知英子　二本柳寛　監督杉江敏男
ひかり座

耳鼻科 咽喉科
看護婦見習募集
高柳醫院
高柳博明
平駅前（電一一二）


ラジオはビクター
スーパー改造修理迅速にいたします
三井百貨店
平三 電二八四

産婦人科
中田医院
平市材木町聚楽館前
電話一〇九七番

優良
ポートリー號
ドリーム號
東京本田技研工業株式会社
福島県総代理店
植田町本町25
大平商會
電話237番

外科
肛門科
上田醫院
平市南町（平局裏通）
電話一二九番